

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」熊谷校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	個別支援の為各ブース適切なスペースを確保できている
	②	職員の配置数は適切であるか	3	0	1	支援に関しては適切であるが、もう一人職員がいると助かる。適宜面接を行い、4 人目の職員確保に向けて動いている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	1	障害特性に合わせ配慮は行っている。バリアフリーについては対象としていない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	共有のスケジュール表を活用し共有を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	年に 1 度保護者の方へ事業所評価をお願いしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	HPや教室内で見られるようにしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	1	外部評価については実地指導があるが、今年を対象になっていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	毎月法人内で開催している研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	FB時や事業所内相談を活用し、聞き取りを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	統一したアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	基本個人で計画は考えるが、共有や相談は適宜行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	毎回プログラムを考え固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	お子さんの様子に応じて課題を調整している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	月に 1 回程度小集団も実施し集団での様子も見れるようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	0	朝礼時に確認を行ったり、詳しい内容については個別でも確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	0	終礼時に特記事項などの確認を行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	次回の支援までには必ず記録作成をしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	最低でも6ヵ月に1回モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	0	0	お子さんの課題に合った支援を組み合わせ、実施している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	3	0	教室内の状況のふまえてできる限りふさわしいものが参加できるようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	1	2	お子さんからの情報が多いため、保護者の方へ確認を行ったり、必要に応じて学校と情報共有を行っている。相談支援事業所からも情報提供をいただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	0	対象児童なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	0	4	必要に応じて情報共有を行う。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4	0	対象児童なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	0	相談支援事業所を介し、担当者会議を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	交流の機会は設定していない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	0	2	地域の集まりには積極的に参加をしている。しかし現在コロナ禍なので開催も少ない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	毎回支援後にフィードバックを行ったり、事業所内相談を実施している。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	4	現在は行っていない。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時に必ず行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	事業所内相談を通し相談や助言を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	4	実施できていない。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	相談や申し入れについてはできる限り迅速に対応を行うよう意識している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	HP、LINE、インスタなどを活用しながら、教室内にも掲示を行い、口頭での説明も行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	鍵付きのロッカーにしまっている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	出来る限り対応できるように職員全体で取り組んでいる。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	4	地域の人を招待する活動は行っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	0	マニュアルについては指導員はいつでも確認ができるようになっている。 保護者への周知は行き届いていない。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	月1回実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2	0	今年度はまだ虐待防止・権利擁護研修が実施されていない。開催され次第参加し教室職員への共有を行なっていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	0	身体拘束が必要な場合には、教室での話し合いをし、保護者へ確認を行い、行政とも情報共有を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	4	食事の提供はしていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	適宜作成共有を行い再発防止に努めている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」熊谷 校

保護者等数（児童数） 44人：回収数： 23人割合： 52%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	0	1	・子どもに声が聞こえないような面談スペースがない。 ⇒支援ブースから離れたところでの対応など話している内容がわからないような工夫はさせていただきます。 ・漏音を軽減できればいいと思います。 ⇒遠隔支援では別のブースにて他のお子さんも支援を受けている為、多少音を拾ってしまうことがあると思います。離れたところでの対応など、出来る限りこちらとしても配慮させていただきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	4	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	11	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	23	0	0	客観的に分析されているかは不明。 ⇒対応した職員だけで決めるのではなく、職員全体で話すことで、それ以外の人の意見も受け入れられるようにしている。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	21	2	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	13	6	個別療育に特化されており、集団療育も案内が来ており、交流はなくても良いと思っています。 ⇒個別を中心に行わせていただいていますので、外との交流は難しくなっております。その中でも今回のようなお言葉をいただけるのはとてもうれしく思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	0	1	発達状況の変化や進捗についての話し合いが不十分。 ⇒大変申し訳ありません。こちらとしても時間を設定してできる限り状況をお伝えできるように配慮を行なっていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1	0	こちらが希望すれば、すぐにこういう機会を作ってくださいと思う。 ⇒もちろん希望に沿うような形で対応をさせていただきます。こちらからも保護者の方へ様子伺いのお声がけをさせていただきたいと思います。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	15	6	保護者の回答はないですが、個別療育で利用しているので、特にほかの保護者との交流は希望していない。 ⇒コロナの状況が落ち着きましたら、以前実施していたママカフェなども再度開催させていただければとも考えております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	6	0	苦情はないと思いますが、万一あったとしてもすぐに対応や説明をしていただけたらと思います。 ⇒そう言っただけでとてもうれしく思っています。丁寧な対応を心がけて行きます。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	5	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	6	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	22	1	0	聞こえないスペースがないのがオープンになってしまう。 ⇒申し訳ありません。こちらとしても場所や声量等にも注意しながらお話を伺うようにいたします。建物上完全なる個室というのは現在では対応が難しくなっております。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	1	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	6	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	5	0	・「きらりにお勉強に行く！」と毎週楽しみにしています。 ⇒そのようにおっしゃっていただきとてもうれしく思います。引き続き楽しみにしていただけるように取り組んでまいります。 ・追加支援が受けられると週2回通えるのでとても喜んでます。 ⇒できる限り皆さんには多く「きらり」をご利用していただきたいと思っています。毎週空きコマのご案内もさせていただいておりますので、可能な時は追加のご連絡を引き続きいただければと思います。 ・遠隔支援でも楽しく利用できています。 ⇒今の社会情勢の中でも一人でも多くの方に「きらり」をご利用していただけるようできる限りの対応をさせていただきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	2	0	・長らく利用させていただき、今後もまだお世話になりたいと思っています。いつもありがとうございます！ ⇒こちらこそ「きらり」継続してご利用いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。 ・いつも本人に合わせた支援をしてくださり、苦手な部分は繰り返し指導してくださるので、少しずつ成長できている実感があります。 ⇒こちらとしても日々の成長を嬉しく思っております。引き続き満足いただけるような支援を心掛けていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。